るにあたつ

げることに努め にオリンピック なんだ種目をく ムードをもりあ ふうして、大い リンピックにち

たものでした。

祭というわけで 決まりました。 をやったり、オ 町内型火リレー 去年は、前年 50

で、 この大会は、

を記念してはじめられたもの 大会ができあがることでしょ いわば町と共に生まれ、 わが町の合併 一当日その会場に顔を出さなく とも、それぞれの家庭や部落

第11回町民体育大会

ことしの町民

月四日(日)と 体育大会は、十 十二人の青少年たちは世紀の のの型火リレーも行われ、九

いるので、それこそオリンピ ぞれ独特のだしものを考えて 民総参加の態勢を固め、それ小学校の運動会を中心に地区 躍らしているし、各地区でも 祭典に直接参加の感激に胸を ック本番のとしにふさわしい こに集まつた人全部が主役で 手によって町民のために行わ り、町民のものとして町民の あり、演技者であります。否 演技者と観客の別もない、そ 役、わき役の別もなければ、 れてきたのです。そこには主

喜びも苦しみも、町と共に味町と共に育つてきたのです。 で、この大会を育ててくれる うら方が多数いられるのです ものは、決して少数の英雄で この大会によって生まれる

0

さ

あ

3 踊

3

ょ

日

音

頭

بح

5

世

踊

る

な

6

世 界

を

舞

台

オ IJ

>

E

" 5 0

晴

九

0

B

1

(一ニッポン音頭」

から

個人最高 六、四五四四グループ平均三、九六五

◇ソフトボール部

回戦で惜敗

得した。

(内谷東)

出場二年目ながらよく健斗

川内農研 三、三九五

(斎藤幸衛、後藤昌伸、

鈴

木鉄男、斎藤隆安、佐藤清

(鈴木)

ことしはほんも

町と共に味 本

もなければ一部の人気者でも

コク、クアラルンプール、 トマンズ)ラングーン、バン ラホール、ニューデリー、(カ テネ空港を出発、イスタンブ 団長に渡される。二十三日ア ここでギリシヤオリンピツク シャの首府アテネに運ばれ、 採つた火は、昼夜兼行でギリ ール、ベイルート、テヘラン 組織委員会から派遣団の高島 てもえつづけるのである。 に点火され、

午後二時十三分、貝田中継所 尚わが町では九月二十八日 に使われる

この旗に誓

V

ま

しよう

派な表彰旗を授与された。 町消防団は、写真のような立 防団長大会の席上、わが国見 かれた昭和三十九年度県下消 去る六月二十日只見町で開 県下 O

ろう」という趣旨から、県下 をなくし、明るい郷土をつく 一九の消防団の中から、 これは民友新聞社が「火災 組 団長大津利一氏談 のと関係者一同感激している 団の日頃の努力がみのったも贈るもので、わが国見町消防 織、施設、教養、訓練並びに の模範となるもの一団を選び 無火災状況が特にすぐれ、他

> 団員結束を固め、一致協力 る次小であります。今後も まして心から感謝申し上げ 防協力会のたまものであり めにご尽力くださる婦人消 後顧の憂えなからしめるた の用心と団員の出動に際し すが、更に家庭における火

掘取り調査を行なった。今年を催うし、七月二十四日その

連絡協議会(会長八島健一さ ん)では、馬鈴著増収競技会

このたび国見町農事研究会

することができたのは、 「このたび、この光栄に浴」

と民友新聞社のご趣旨にこ

実を結び、グループ最高四七 ていたが、会員必死の努力が

れ、その後の成育が心配され は春の凍霜害で発芽をくぢか

内谷東農研

もつて町民各位のご期待 消防使命の達成に精進し

オリンピック創始者クーペル することである」といわれた 密感と協力性であります。 るわしい友情であり、強い親 ありません。町民みんなのう 「勝つことではなくて参加

わってきたのです。

この大会は、その名のとお

11回町民体育大会を待ちまし標に、われらの体育大会、沖標に、われらの体育大会、沖 が町民体育大会にもあてはま ×××

> (民 友 表 彰 旗))

タンのことばは、そのままわ

ります。



県境で受渡し

演奏

を出 周の後九日国産機によって鹿 われることにカ・コューリア | 所在都市を通って十月九日東 | 隊の「若い力」演奏の中に聖 コースに分れて国内の各県庁 | 保者立会い、福島自衛隊軍楽 | 一名の | 二重橋前を出発、六人のラン 立競技場に設けられた聖火台ナーによつてリレーされ、国 会期中炎炎とし 九二名のメンバーは本紙七月 を代表して参加する四チーム 継ぎが行われる。わが国見町 号でお知らせしたとおりで、

同は今から心身の健康に留

日程十三、中小企業者等育

め、町は二百万円を福島者の金融緩和をはかるた のである。 県信用保證協会に明春一 り間接的に損害を蒙る業 月二十日まで預托するも

間の調整に努めている。 意しながら、走法の研究や時 日程才四、昭和三十九年度

に精励された団員の協力にらず教養に努め技能の向上と業務多忙の身にもかかわ に努力された町当局の好意政多難の中から施設の充実 よることことはもちろんで 員菊地政治、宍戸武雄、 反

当六四五四

丰

口

たえる覚悟でありますので 倍旧のご指導とご鞭撻を

画で施行しているが、地 工事は目下巾員二・五米高鉄側は巾員二・五米の計 工事に伴う山根地下道建設 即ちトラックの通れる地 行中にして現在の工程八〇 元では将来に備えて三米 さ二・五米の計画に基き施 特別委員会報告 二回、実地調査二回実施し 通り不採択と決した。 ついては特別委員会報告

なお町長より国鉄山根地 委員会五回、部落懇談会

般会計補正予算は凍霜 ◎七月十三日町議会臨時会 東海林一郎。 佐藤元一、 大沼酉治、

りの家老踏切を地下道

に変 市

活動は活発になり、郡中体連

しく、特に今年は、完全優勝 大会等における活躍はめざま 下道は議会の決定通りとし

中

体

ここより八〇〇米貝田よ

日程才二、国鉄山根地下道 巾員確保に関する請願に 決定するものである。 である。事業個所は今後 算は凍霜害対策救農土木 費二六二万五千円の計上 ○七月二十八日、議会臨時 要請中なる旨報告した。 更するよう各方面へ強力に 員三米高さ三・五米)

日程才一、国民健康保険税 る。 条例改正について。

日程才二、昭和三十九年度 医療費の増嵩殊に世帯主 巾な増税となる改正であ 七割給付実施等による大

小学校給食室改築費当初 の他土木費砂利代二六万 たが耐火構造に変更等も あり一〇九万円の追加そ 一二〇万円計上してあっ 般会計補正予算は藤田

の誇りとなり、

おける各部の活躍は全校生徒 のである。こうした運動面に 進出、県北中の名声を高めた

日程才三、公宮住宅建設の 場所は昨年同様源宗山 件は住宅十七戸の建設で

平屋一戸建十坪。 ある。

会だより

のとおりである。

発行人 佐 藤 善次郎 編集人 鈴木美 印刷所

昭和39年8月15日発行

非 亦

発行所

品

国見町公民舘

議

字佐美印刷所

日程オー、専決処分につき が招集され議決した事件次 ○六月二十五日議会定例会 業費八〇万円の追加予算 八年度過年度災害復旧事 承認を求めるの件は三十

日程才二、福島県消防団員 扱を組合で行うための改 ることになつた。その取 職の場合退職金を支絡す が十五年以上勤務して退 公務災害補償組合の規約 部改正の件は消防団員 請願、大木戸外八部落より 道が出来ることになり国 国鉄藤田貝田間複線に伴 い山根に立体交さの地下 等その他調査費である。

員を挙げて審議すること すべきもの」とす。 の重大性を考慮し特別委 よって本請願は「不採択と は責任を以つて実現方請 て、これを取りこわし拡張 下道を要望し、この際町 %竣功している状况より見 にした。 願されたので議会では事 工事は出来難い現况にあり

成預托の件は凍霜害によ

正である。

委員長代理佐藤新七、委 特別委員長八島建次郎、

の利子補給六一万三千円 助一三万八千円、融資金 費二八〇万円計上された 害対策予算である。農業 万五千円、桑の消毒剤補 もも四七万二千円桑五二 内訳樹勢回復肥料代補 日程가一、一般会計補正予 りんご五七万六千円

東北本線藤田貝田間複線

円等の追加である。

お願いいたします。 (能坂氏

ヤガイモオリンピツク ○○キロを越し、個人最高で 示めすと次のとおりである。 グループ平均反当換算収量を 関係者を驚かしている。 は実に六四五四キロに達し、 坂正一、鴨田善二、幕田政 (菅野正、熊坂吉兵衛、熊 (単位キログラム) 四、七二二 露する。 (鈴木)

郡大会

近野 じめ 優勝五種目、才二位 心新記緑で優勝したのをは ん新記緑で優勝したのをは の丸投で斎藤紀子さ ◇陸上競技部 和日 十三位四種目

川喜代夫、

佐條定司、

(佐藤隆夫、吉田正雄、石旭農研 四、二四三

引治)

(八島健一、志村謙三、八高城農研 三、五〇一

長谷川益三、

本田

◇バレーボール部

「頭張つて準優勝をとげた。

「頭張つて準優勝につづき、よく 戦して惜敗したがオ三位獲男女共準決勝で優勝校と対 ◇水泳部

トルの平泳ぎ二種目に優勝 中学生新記録を立てて優勝 中学生新記録を立てて優勝 でも二位入気)トル自由型 でも二位入気であり、質したのは実と でも二位入気であり、質したのは実と でも二位入気であり、質したのは実と でも二位入気であり、10年のでは、10 00 × 1 旧

みとめざるを得ないであろう たことを考えるとき、そこに 態度がきわめてまじめになっ ろん校外における生徒たちの 向上したことや、校内はもち めの原動力となりつつあるよ 県北中が更に発展充実するた うだ。最近同校の進学成績が 一連のつながりのあることを 次に先日行われた中体連に

◇卓球部

を ◇剣道部 技師、風格共に一流であっ たが予選において惜しくも ◇体操部 というところ。 二名出場、 入賞にもう

敗、女子団体戦も二回戦で男子団体戦は準々決勝で惜

であった。
に入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものに入賞したのは立派なものにあれた。しかし個人戦では その中でも吉田俊江君が一 男子総合沖二位を獲得した 一四名が出場、よく奮斗し

步

連 堂々優勝の吉田、 K 光 る 県 北 中

近年県北中学枚のスポーツ し、準々決勝まで進出した 熊坂(水泳)

◇体操部 ◇卓球部 中体連に新記録を残した。に全種目に完全優勝し、郡団体戦男女、個人戦男女共

水泳や剣道などあまたの上位 の卓球をはじめ、総合優勝の

って県北地区から県大会まで 入賞者を出し、その余勢を駆

◇水泳部 位入賞、総合優勝を飾つた男子はほとんどの種目に上 二位、団体総合オ三位に入跳箱でオー位、個人総合オ

◇剣道部 県北地区大会 強さを発揮して優勝した。 個人戦共に断然たる

◇陸上競技部

に一七名出場、棒高とびと一一種目(リレー三種目)

◇体操部 ドラ位、団体総合でオ三位 とび箱でオー位、個人総合 に入賞 女子砲丸投げが二位に入賞

◇水泳部 ◇興稅陪 健斗したが一回戦で敗退 総合氷二位を占めた。 数多くの上位入賞を獲得

◇陸上競技部 県大会 県北大会で入賞の二名が出

-171 -

0

右

かい

若者の天国デン 7

生独身 ーな しは

正

く前に働いていたカー 私の働いていた農場で私が行 て正当な賃金が支払われる。 で働く時は、その経験に応じ だから十四才を過ぎ他の農場 経済的にも、 迎え親から完全に自立するo る。彼らは十四才で成人式を る」とか日本でもいわれてい る 農事を見習りという制度であ アは家事を見習い、カールは 他の農場で働きながら、ピー 十四才で義務教育が終った後 ルと呼ばれるもので、これは マークにある。ピーア・カー た年履いのような制度がデン よ」とか「他人の飯を食わせ 一かわいい子には旅させ 精神的にも

こうして他の農場で働きな

できた、昔日本で行われてい たちを多く友人に持つことが 場で働き、農村で働く若い人 たちについて書いてみよう。 私たちは、最初の六か月農 今回はデンマークの若い人 め大学にも入れないのである ねば、家政学校にも農学校に 経験がなければ農学校をはじ 度と異なり、 ある。まったく日本の学校制 も入学する資格が無いわけで 際の見習いとして農場で働か 活するのである。こうした実

一定期間実務の

は十七才で一か月食事室代 (男 結婚資金又は農場を買う資金 日本人と異なりデンマーク人 踊り通す。こうして働きなが ンスは夜中の二時三時頃まで は夜遊びが非常に好きで、 土曜日の夜はダンスにいく。 のものであり、毎夜恋人と町 がら、その生活は全く自由そ ら彼等は、学校へ行く資金 に出かけていくし、毎週必ず



熱心に勉強し

七月初め各方部で開いた婦

判がよく、

十二回の

開講を

早

います。

「命あっての物だね」ほんと

ものは心身の健康であると思

今後数回にわたり なった。 おききすることに 佐藤先生のお話を

◎藤田 (青年研修所)

八月二十八日午後一

時

役割

です。

オリンピック東京大会を記

子どものしつけと婦人の 沢崎忠蔵先生 ◎小坂小学校 たいという声が出ている。 の方がたにもきいていただき できくのはもったないから男 た。こんなよいお話を女だけ が、いよいよその日程が決つ くするように催促されていた を並べただけあってどこも評 人講座は、さすが一流の講師

八月二十九日午後二時

【写真】熱心に

◎森江野 (小学校)

婦人と政治 佐藤 信先生

これからひとつやつてみよう 念して、クラブをつくり、み

国見町青年学級では九月四

中である。今年は、観光と勉

主火リレ

1

奉迎

(国見町実行委員会)

◎役員

(副会長)春日佑幸、

(会長) 赤井畑直衞

役員及び係員次のとおりつ 行委員会が設けられた。その 八〇〇円。

るというもので経費は約三、

話をするため、わが町にも実その奉送迎に関する一切の世

八郎潟干拓などを視察

と思われる方、どちらでも結 んなで研究したいと思います

八月二十六日午後二時

場で働くとき、室が与えられ)を得ていた。彼等が他の農 で二〇〇クローネ(約一万円 を除き八〇〇クローネ(約四 万円)ピーア(女)は十四才 食事は家族の一員として生

その他私たちは七か月間農

働いた金で支払っていく。 農学校に入っても親から一文 もらうわけでなく全部自分で をたくわえているのである。

六か月、 子は十八才になると一年半兵 校で、全国から集まっても生校は九○年の歴史をもつ有名 で私たちの入った学校にも全 の自由意志で、農場で働くの 婚適令期の男女で、生徒の六 ので十七、八才、いずれも結 は三年位の家事見習い後入る で二十二、三才ぐらい、女子 隊に行った後で学校に入るの のコースを選んでもよい、 三つあり、その人の希望でど 徒は僅か農学校男子二四名、 少人数である。私の入った学 た。学校といっても短期間で 国から生徒が集まってきてい も学校に入るのも義務制はな し七割は恋人か許婚者をもっ る。全員寮に入り、五か月、 家政学校女子三二名だけであ いし、又学区制もない。それ 九か月、とコースが 男 かってもらえず。困ったこといので、いくら説明してもわ ない。見合い結婚など全くな がたびたびあった。しかし、 対するなどということも全く に料理の実習が毎日四時間以 女子は完全な花嫁修業、特

ているのには驚いた。こうし て学校に入っての六か月とい 男女が恋人を見つけなければ これも大変である。若い青年

| 構ですからお申込みください| ることになり、ただいま準備| のである。計画によれば、十と思われる方、どちらでも結| 日五日にかけて修学旅行をす | 強を兼ねたコースを考えたも 学校に入った。これもその人 ぐ結婚した女性が三人いたこ うのは、彼等の青春の最後と
 とである。授業は一日八時間 思われることがたびたびある というのは学校が終ってす

は全然ない。結婚が当人同志 である為、親が子の結婚に反 の農村のように嫁と姑の問題 ないでしまった。だから日本 婦が親たちと一軒の家に生活 ンマーク生活中一度も見かけ 上もある。 しているのは一年二か月のデ ら独立して生活をする。若夫 結婚、結婚すればすべて親か デンマークではすべて恋愛 一つである。 みて、これも楽しい想い出の まったこともあり、今かえり から結婚を申込まれて困って には苦笑せざるを得なかった 友だちもできたし、若い女性 ても、学校に入っても、 彼らと共にいて、大変な苦労 だから私たちも、 デンマークには、

からの助成がある。 ブ、ダンスクラブ、各種スポ ある。体操クラブ、音楽クラ のグループに対しては国や県 べて会員制で、 ーツクラブ等々、これらはす ークルやグループがたくさん わず、都会といわず、各種サ 一定会員以上

たちに囲まれての夜の食事や

(昭和三十九年八月十日記)

(警備係)大津利一(救護係)板橋秀雄(交通整理係)佐藤新七

4渡部直人、5大波健

そして海水浴等々:

とに青春のすべてをかけてい 入っても、恋人を見つけるこ 兵遂に入っても、また学校に 等は、農場で働いていても、 + 生結婚できない、だから彼 オリンピック聖火リレーに一関するチーム編成をはじめ カウト、

ガールスカウトの多

(顧問) 市

佐藤光一、

鈴木 木 正 弥 佐藤善

(委員) 小林美秋、

佐藤精 東海林一郎、

私たちもダンスに行きながら るといっても過言ではない。 農場にい 多くは自家用車をもっている であった。 いことも他で見られないこと で外国旅行に出たり、 夏になれば自動車(青年の

(委員) 小林美秋、雷野貞雄 田村操、鈴木彦衛、佐藤 三、柳田藤雄、大津利一 佐藤新七、稲村彦三郎、 村上トク、佐藤昭元、八 村上トク、佐藤昭元、八

ことができない。若い金髪娘 っている)での生活は忘れる や海岸に建ててある別荘でち 作業から全く離れたサンマー を送る。夏はデンマークの若 の中学生は田舎の農場で生活 活を家族と共に楽しむ。又町 夏の日、これを張って室外生 テント一張は必ず持っていて 行をする。またどの家でも、 を自動車で廻りながら国内旅 ょっとした家族では大部分特 ファウス 人の最も楽しい季節である。 ち二~三人でユースホステル 私たちも、夏のひと時、 (夏の為の山小屋 友だ

大内正美、渡辺等

(副委員長) (委員長) 佐藤元

仕) -- 斎藤太助、) 奥山嘉助

(時計::) 大內正美、渡辺等 (大者係:) 主內正美、渡辺等 原後明: 生傳野鉄雄、3+ 內守、4 佐藤洋一、5 組 村支已、6 伊藤一飯 5 組 村支已、6 伊藤一飯 5 組 村支已、7 年 (トーチ係) 1 年 村支已、7 年 (中国、1 年 (中国) 年

5 3 1 稲大塚

農村とい

第2回中央婦人講座 ◎大木戸(小学校) 明るい家庭 八月二十七日前九半 吉岡棟一先生

◎大枝(公民館) 長浦小一郎先生

明るい社会 成人病と農夫症 八月二十七日後一半

幸福とは何であ るか……幸福で クラブ員募集 私たちの真の | もちろん両方でも結構です。 ○民謡研究会

今月

0

巡

回

踊り

聞きいる婦人たち

座日程決る

ع

男性側の参加も

にはいろいろあ その土台をなす りましょうが、

申込所……一応次の所に申 国見町公民館 野村隆一(板橋)名和胖 込んでください。 佐藤喜二郎(大枝) 野目)後藤忠男(高城) (藤田) 佐久間直次 (塚

◎踊り研究会 申込所 申込期 八月三十一日まで

にはどうしたらよいか――そ にそうです。健康であるため

木ヨシイ(川内)国見町山)八島アキ(高城)鈴ツ(藤田)佐藤一江(森ち内イチ(小坂)佐藤カ 公民館

男 れにもいろいろありましょう が、まず手軽で効果のある方はとして「うた」と「踊り」 かあります。 みんなそろって いんとうにんから楽しく、大

◎申込者で会合を開き、 その他協議します。 申込期八月三十一日まで

ができるようになりたいものいにうたい、大いに踊ること

規約

らの青年学級のあり方につい 。 青年学級の姿を知り、これか 」という映画を見て、ここの 」という映画を見て、ここの ける新しい村づくりを見て帰和田から八郎潟の干拓地にお んありました。それからしば て教えられるところがたくさ を協せてねっしんに勉強して いるようです。 夜は、古殿町の青年学級を

町の鈴木先生と梁川町の中村 それぞれ体験を通して、 開会式に引読き、

少ないながらも残った者で力 どこでも青年は減っているが なやみや意見を述べました。 各郡代表 その

は、わたって話し合いました。
さむか」などについて三時間にいいていか、青年学級に何を望い、これが、一般について三時間にいいた。 にわかれ、昨日の発表をもと 都市部、 に年長組、年少組など七分科 農村部とわかれ、 更

て解散しました。 正午すぎ「螢の光」を合唱し

佐

藤 且 源 3

雄

わたくしたち三名は、 参加 福島 県青 L 7 年学級生大会に

睿

が

<

る(「さあさ踊ろう」から)

名は福島駅で勢揃いし、 郡古殿町で開かれた昭和三十 六・七・八の三日間、東白川 に参加させていただきました 九年度福島県青年学級生大会 伊達管内から集まった十五

くつくったと思われる立派な で五〇分、こんな山の中によ 出発、水郡線石川駅からバス 先生につれられ、九時十五分 廊下や玄関にまであふれてい 公民館が会場です。県下から でさすがの大広間もいっぱい 集まった約三○○名の参加者

の発表です。一人一〇分づつ

沙二日は、午前中分科会、 演をおきさし、閉会式をし、学習について」約二時間の講

民館、女子はすぐ隣にある青らく話し合いをし、男子は公 年研修所にわかれて合宿しま

| でソフト・バレーの対抗試合| 中学校のグラウンドと体育館 浜通りチームに敗れましたが ムは、バレーは大接戦のすえ です。わたくしたち県北チー 午後はスポーツ交歓競技、

を破って優勝しました。 火を囲んで、うたや踊りや簡 す。えんえんともえあがる営 ソフトはみごと会津、浜通り 夜はキャンプファイヤーで

表彰があり、 議をし、 オー日の発表とスポ 関き、分科会の報告と全体討 も忘れておりました。 の出しもので、夜のふけるの 単な劇など、各方部思い思い ーッ交歓競技の勝者に対する 分三日は、午前中全体会を 会津短大佐田玄

-172-